



社長リレー【西部編】

仕事を離れた社長の素顔

第70回
レイス米子

山崎 希 代表

人と接することの楽しみ

今年から医療保険が適用される、訪問医療マッサージという事業を自分で立ち上げたのですが、それまではホテル、ウエディング、そして葬儀の仕事に就いていました。

起業する際には周りから、「マッサージの経験は？」とか「葬儀屋さんからなぜこの仕事？」など、葬儀とマッサージって全然繋がらない印象をお持ちの方が多く感じました。

しかし、「人と接する」ということや「高齢者やそのご家族とのコミュニケーション」という部分で、強く繋がっているように感じます。

実際の施術は専門のスタッフが行うので、基本的に私は最初の間診や、訪問時に施術者と一緒に行ってお話ししたり、保険請求の際にお邪魔するという、利用者の方と接する仕事が主なんです。

つまり、高齢者の方やそのご家族の方とのコミュニケーションを深めるというのが主な仕事で、その辺りは葬祭の仕事から変わらないという点で共通しているんです。

長年、葬祭の仕事をしていたのですが、葬儀の際って、遺族の方やご家族の方はいろいろな感情で溢れているんです。悲しみはもちろん、怒っている方や心配を抱えている方など。

そういった方に寄り添い、接するということ、なかなか普段のコミュニケーションではない、深い層での繋がりといいか、お付き合いというか、そういった人と人のコミュニケーションの中でも特別な環境で、日々仕事をしていたという経験は、今

も物凄く役立ってますね。

あと、今の訪問マッサージの仕事は、実は前職の時から考えていたんです。健康寿命と寿命がなるべく同じになるお手伝いがしたいなあと。

気持ちいいというのもマッサージの一つですが、痛みを取ってあげたり、身体が少しでも楽に動かせるようにというのが主ですね。例えば麻痺などで身体が動かなくなりリハビリをする際も、マッサージや施術をしてからリハビリを行うと、運動域が広がったり、動きがスムーズになったり、機能回復というのが一番の目的ですね。

そういったマッサージと医療・リハビリの組み合わせで、いつまでも健康で人間らしく生きて、寿命を全うする。そういった素晴らしいことの一助になりたいと思ってこの事業を立ち上げました。

始めてみて思ったのですが、医療保険（健康保険）が適用される訪問マッサージって、米子なんか、見ても少ないんです。明らかに高齢者がどんどん増えていて需要は多いと思うのに。

今後は、色々な症例を集めながら、医療機関、地域の包括介護サービス（ケアマネージャーなど）との連携の構築、そして、まだまだこの地域に、こういったサービスがあるという方が少ないので多くの方にもっと利用していただけるように頑張っていきたいですね。

◇ ◇ ◇
レイス米子

本店 米子市皆生五―一二―四

事業 訪問医療マッサージ